

全国民間保育園経営研究懇話会

経営懇ニュース8月号 (No.141)

2015年8月28日

162-0837 東京都新宿区納戸町 26-3 保育プラザ 3F Tel03-6265-3174 Fax03-6265-3184 gsp10404@nifty.com

会員のみなさん いかがおすごしですか。

新制度が始まって5か月。書類や手続きに追われているうちに、気がつけば半年がたち、来年の申込みもすぐにやってきます。日々の忙しさに追われがちですが、新制度で何が変わったのか・変わっていないのか、わが街の保育・子育ての課題は何かなど、立ち止まり整理し共有することが必要ではないでしょうか。そして、改善すべき点は改善させるべく、声を集めていかない限り、保育士不足や保育環境の問題点は解決されません。忙しいけれど…子どもたちのために！

たかが地名 されど地名

柳家小三治の落語「宿屋の富」の枕で地名のことをふれていた。小三治の生まれた新宿の“柏木”が“北新宿”という味もそっけもない地名に変えられたという。

「同じ新宿区でも、市ヶ谷から牛込には強情に地名を変えていない小さな町がたくさんある。神楽坂とか納戸町とか筆筈町、細工町。山吹町、弁天町、二十騎町などと言うのもある。いいものですね。よくぞ残してくださいました。」という次第である。

市ヶ谷から牛込にかけては、江戸幕府の直属の武士が住んでいた。武士と言っても、戦争のない時代だから幕府の公務をつかさどる、いわば公務員住宅地である。それぞれ役柄別に住み分けていたのである。地名は、そうした歴史を彷彿とさせる。

私の住んでいる目黒にも、味のある地名がたくさんあった。しかし、時がたつにつれて“味もそっけもない”「記号」に変わっていった。行政の立場からすると、その方が「便利」で「管理しや

すい」のだという。

親が子どもにつける名前には、親の子どもに対する深い思いや願いが込められている。保育園では、子どもたちの一人ひとりの名前を、しっかりと呼び合っている。名前や地名には、願や想いや歴史が込められ、同時に人々の深いつながりが感じられる。

ナチスの絶滅収容所であったアウシュビッツでは、囚人にすべて番号をつけ腕に彫り付けた。ジブリの『千と千尋の神隠し』では、湯バアバが名前を奪うことで人を支配する。

いま、日本では国民総番号制がつくられようとしている。国が、ひとりひとりの国民を個人として尊重しようとするのではなく、管理・統制・支配しようとするとき、「便利」で「管理しやすい」「記号」が必要になるのだろう。

志村毅一

(副会長、東京・(福)民友会 理事長)

第18回夏季セミナーin 北海道 申込み受付中

夏季セミナーを9月6・7日(日・月)に北海道札幌市で開催します。内容は、児童福祉法24条1項の意味と活かし方を考えあうシンポジウムと、安全保障問題を考える記念講演(講師:東京新聞論説兼編集委員の半田滋氏)です。

席には余裕があります。ギリギリまで申込みを受け付けますので、お電話にてご連絡ください。

社会福祉法人「改革」

●社会福祉法等一部「改正」法案、7月29日衆議院厚生労働委員会で可決

7月29日に、衆議院厚生労働委員会にて、社会福祉法等一部「改正」法案が、自民・公明・民主・維新等の賛成多数で可決されました。採決にあたり、民主党は修正案を提出しましたが反対多数で否決され、その後の採決で一転して与党原案に賛成しました。この民主党の態度には、傍聴席に詰めかけた約80人の傍聴人からどよめきの声があがりました（詳しくは同封の実行委員会ニュース参照）。

審議は参議院に移っていますが、今のところ、審議は始まっていません。参議院での審議にむけて、福祉共同実行委員会からは、次のような提起がされています。

<参議院厚生労働委員会の審議に向けたとりくみ>

1. FAX 要請運動

厚労委員会の委員に、「私のひとこと」と住所・氏名・法人名を記入した緊急要請書を FAX で送りましょう。特に地元や、地元近辺の議員には、集中して送りましょう（同封の要請書をコピーして下さい）。

要請内容

- ・公益活動の義務化反対
- ・公定価格を引き上げること
- ・退職共済制度への公費助成を廃止しないこと
- ・拙速な採決を行わないこと

2. 9. 3 院内集会&要請行動

9月3日に院内集会を行います。あわせて議員要請も行う予定です。※午前には、厚生労働省との懇談（代表が参加）も予定されています。



憲法 25 条に基づく 権利としての福祉を守る 学習決起集会

日時: 9月3日(木)

12時半開場、13時～16時

会場: 衆議院第一議員会館 多目的室

内容: i) 学習 “社会福祉法「改正」の内容と
これからのとりくみ・運動”

講師 石倉 康次 先生 (立命館大学 教授)

ii) 各団体の発言

iii) 今後の運動の提案、共同の国会請願署名

iv) アピール採択

社会福祉法「改正」案は、衆議院においてわずか 10 時間の審議で可決して参議院に送付されました。自民・公明の与党は、もっと短い審議で可決し、成立をはかる意向です。「内部留保」の定義や実態も調査もせず、立法根拠がないままに強行しようとしています。

その背景には政府・与党の、憲法 25 条をなし崩しにして社会福祉事業の市場化を押し進め社会保障予算削減をはかり、戦争法(安全保障法)に基づく「富国強兵」策に加担・奔走しようとする姿勢があります。

「権利としての福祉を守る関係団体共同実行委員会」に参加する私たちは、今学習決起集会で社会福祉法「改正」法案の内容とねらいを改めて学び、当面およびこれからの運動について確認します。

主催: 権利としての福祉を守る関係団体共同実行委員会

障害者の生活と権利を守る全国連絡協議会、きょうされん、きょうされん東京支部、全国保育団体連絡会、21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会、社会福祉施設経営者同友会、愛知県民間社会福祉施設経営管理者会議、全国民間保育園経営研究懇話会、東京民間保育園経営研究懇話会、中央社会保険推進協議会、全国福祉保育労働組合

【事務局】全国福祉保育労働組合内

TEL: 03-5687-2901 FAX: 03-5687-2903 Mail: mail@fukuho.org



第47回合研集会



全国から10,888人参加

8月1～3日に東京で、第47回全国保育団体合同研究集会が開催されました。全都道府県から、1万人を超える保育関係者が集まりました。

1日目全体会の「基調フォーラム」では研究者や保育士、保護者などから保育実践上の課題や今年4月から始まった「新制度」の問題点と改善のための課題、保育士が子ども達から学びともに成長できる保育実践、保護者のネットワークで待機児童解消の運動にとりくんだ教訓と到達点などが話され、保育をとりまく情勢を多角的に学び共有しました。



開会行事に出演した子どもたち↑

●平和のとりくみ

合研集会の期間中に、戦争法案反対を訴える平和のとりくみが行なわれました。



戦争法案は、全国各地で疑問や不安の声

があがっていますが、政府はそういった声に耳を傾けず、国会の会期も大幅延長し法案成立を狙っています。そこで、保育関係者としても声をあげよう、とパレードや国会要請を行ないました。



渋谷交差点近辺↑保護者も一緒にパレード

国会前要請行動では、高知県の保育士から飛行訓練の爆音に子どもたちがおびえている状況が報告されたり、公立保育園の保育士から日々の保育の様子をまじえながら子どもたちに平和な未来を手渡したいという決意が語られました。静岡のこぐま保育園は、平和への思いを集めたタペストリーを持って参加し、園での取り組みを報告しました。



タペストリーを拡大↓



●分科会「民間保育園の運営と経営」50名を超える参加

合研集会では39のテーマで分科会が設けられ、全国各地からの実践報告をもとに、テーマを深める論議を行っています。経営懇では、『民間保育園の運営と経営』の分科会運営に責任を持ち、世話人と司会者を送り出しています。

今年は、例年以上に参加者が多く、50名を超える参加となりました。初めて参加した方や、会員外の園の方も多く、活発な討論となりました。その中では、新制度施行後の状況等を出しあい、自治体ごとに対応や単独補助などの違いが大きいことがわかりました（詳しい内容は、次号のニュースで紹介いたします）。

●自主交流会、25名参加 経営懇会員も増えました！

経営懇自は、合研集会の初期の頃開催していた園長の自主交流会をきっかけに生まれました。経営懇にとって、合研は特別な研究集会といえます。

そこで、今回、分科会とは別に、自主交流会を企画しました。8月2日の渋谷パレード終了後、近くに会場を確保し参加をよびかけたところ、25名の参加がありました。会員外の方も2名参加し、1名はその場で会員になり、会員拡大にもつながる交流会となりました。



おいしいお料理とビールでホッと一息→

◆宍戸先生、合研の始まりを語る～「私も50年ぶりにデモに参加しました！」



交流会には、合研集会を始めたときの中心メンバーだった宍戸健夫先生（愛知県立大学名誉

教授）も参加してくださり、合研集会の始まりのエピソードをお話してくださいました。

「当時、再び戦争への道を日本が進み始めようとしているのではないか、という危機感のなかで、平和のもとで保育を良くしようという意思を表明する研究集会にしよう、と始めました。1回だけやろう！ということで集まったのですが、来年もやりたい！という意見がたくさん出されて、今につながってきました。」



合研集会が平和への願いをもとに始まったことを、今の戦争法案反対の動きが広がっている状況とあわせてお話いただきました。その中で、「今日は50年ぶりにデモに参加しました！」という報告もありました。



◆お寺の一室で園長交流会～顧問・井関さん語る

経営懇の元会長・元顧問の井関さん（大阪・今福福祉会）は、合研集會に毎年欠かさず参加しています。

合研集會のはじめの頃は園長の参加は少なかったと言います。その中で、2～3



人でも交流しよう、とお寺の一室で自主的な交流会をはじめ、社会的な視野を持って保育をすることが大事であることなどを確認してきました。

その後、「ポストの数ほど保育所を」をスローガンに保育所づくりが進み実際に各地で園数が増えてくる中で、園長の参加も増えていきました。

そして、国の保育行政に対して要求しよう・保育三団体の中でも要求をだしていこう、という気運が高まっていき、民間保育園のセミナー開催や、やがて経営懇の結成につながってきたのです。



◆子どもを守るために地域での手つなぎを！

交流会では、お二人のお話しをはじめ、参加者がそれぞれの園や地域の状況、様々な問題関心をだしあって話が弾みました。そのなかで、新制度のもと様々な保育施設がつくられていく状況をふまえて、子どもたちを守るためには施設・事業を超えてつな



がりをつくっていくことが重要ではないか、という意見も出されました。企業立保育所の問題

点等はきちんと見ていく必要があるけれども、そこで働く方たちとつながっていき、保育を良くしていけるように一緒に考えていく、そういった立ち位置が求められているのではないかと、と熱い意見が飛び交いました。また、小規模保育事業にとりくむ法人の方から、小規模保育事業の現状や要望も話されました。

◆参加者の感想

＊合研の始まった経緯はリーフレット等で大まかには知っていましたが、実際に運営・実行した先生方の話を聞く事ができ、その熱い思いを継続させていく事の大切さを再確認し、気持ちを新たにす良い機会となりました。ありがとうございました。

神奈川・(福)神奈川労働福祉協会・足立堅太郎

＊2日目の「戦争法案」反対パレード後19時からの設定という、悪条件にも係らず、全国各地から理事・園長等20数名の参加があり、経営懇の組織力を改めて確認できました。

合研を自ら組織され第1回目から皆勤の井関先生（90歳）、穴戸先生（85歳）の「山の内合研」裏話を、ユーモアを交えて語られる姿に、合研の歴史の重みを実感し感銘を受けました。この交流会で、新しい仲間を迎えることができました。うれしい限りです。

経営懇活動に確信を持ち、500の峰を一日も早く突破し、厳しい情勢に打ち勝つ経営懇の基礎を確立しましょう。

兵庫・(福)あゆみ福祉会・松川修



地域のとくみ・動き

●8. 8戦争法案に反対するあいちアピール

愛知・(福)新瑞福祉会

8月8日に「平和な日本を守るために、未来の子どもたちを守るため、皆で結集し、声をあげましょう!!」との呼びかけに応え、愛知県下の保育園や障害者施設の利用者、職員、そして子どもたちなど800人が参加し、集会とパレードが行われました(とりくみの経過はニュース7月号1ページを参照)。

集会には手作りおみこしや避難車が↓



集会では、保育園の保護者、障害者、若者の代表が「平和を守りたい」「戦争法案反対」の熱い思いを訴えました。そして、戦争法案に反対するあいちアピールを子ども達と職員が読み上げ採択しました。

集会後、参加者は子どもみこしやプラカード・横断幕などを掲げ、名古屋の繁華街である栄周辺をパレードし、市民に戦争法案反対をアピールしました。



◆集会での発言

「子どもたちを愛する母親達の子の声を無視するな!母親達の怒りの声を聞け!そう言いたいです。私たちは、戦争に送り出すために子育てしているんじゃない。ママもパパもじいじもばあばも保育園の

先生たちも、大人たちはみんな君たちのことを守りたくて、一緒に頑張っているということを伝えたくてこの場にきました。」(ママ代表)



※各地の平和のと
りくみをお知らせく
ださい。

●来年度から企業が参入

／福岡市

福岡市では、これまで認可保育所への企業参入はありませんでしたが、2016(平成28)年4月に新設される保育所6カ所のうち、3カ所の運営者が株式会社であることがわかりました。参入するのは、(株)日本保育サービス、(株)アイグラン、(株)テノ・コーポレーションの3社です。

福岡経営懇によれば、市の保育協会にも事前の情報提供はなかったとのこと。福岡市経営懇では対策会議等をひらき、なんらかの動きをつくろうと呼びかけています。

●保育料値上げの実施時期先送り／山形市

山形市では、昨年度保育料の大幅値上げが提案されましたが、保護者から反対の声があがり、9月から見直すこととし2015年4月からの値上げは回避されました。

9月までは従来の階層区分・金額にもとづき保育料の算定を行ない、9月以降は①階層区分の細分化(11階層→18階層)、②金額の見直し(最大で月5,000円の値上げ)、③年齢区分に新たに3歳児を設定(3歳未満児・3歳以上児→3歳未満児・3歳児・4歳以上児)、以上3点の見直しを行う予定でした。

◆市長選立候補予定者すべてが値上げ撤回を表明

しかし、9月はじめに行われる市長選に立候補予定の3名すべてが、現在の市長が決めた保育料値上げ方針に対して、撤回を公約として掲げました。そ

のためか、現在の市長は、予定していた9月からの見直し・値上げの実施を先送りし新市長に委ねることを表明しています。

昨年度、最初に値上げが提案された際、保育園の保護者会連合会をあげて反対の声があがったことが、今回の立候補予定者の値上げ方針「撤回」の公約につながったのではないのでしょうか。

今後、実際に値上げが撤回されるのか、保護者をはじめとする関係者のとりくみにもかかっているといます。

主任セミナーin 宮城 8・26下見&実行委員会開催！ 各園の主任さんをセミナーに送り出してください。

第12回主任セミナーを、11月10～11日に宮城県松島町で開催します。セミナーに向けて、第2回実行委員会を、開催しました。仙台市・大崎市・塩釜市・多賀城市・石巻市から主任さん中心に12名が集まり、経営懇役員・事務局もまじえて論議しました。

◆悩み・課題は多いけど…語ろう！つながろう！

第2回実行委員会では、案内書作成にむけて、セミナーの企画を確認しました。特に、1日目全体会で行うシンポジウムにむけて、主任としての悩みや



日々の思いを出しあいました。

・職員になかなか伝わらない。どう伝えたらいい？



「この言葉は残す？」「う～ん」～テーマ検討中

・保育の質を落とさないようにしたいが…行事や会議に追われ、余裕がない。

こういった悩みに対して、本人の思いを出してもらうことも大事、といった意見や、複数・集団で運営する体制が必要との方向性も示されました。

◆会場下見

～今年の夕食交流会は大宴会場で！

会議終了後に、会場の



受付はどこに置く？～会場下見

下見を行いました。

主任セミナーでは、夕食交流会も楽しみの一つです



が、今年は旅館の宴会場での交流会です。実行委員が準備中ですが、当日は参加される主任の方々の積極的な関わりを期待します。

◆第12回主任セミナーへ職員を送りだして下さい

今回は、例年の金・土の日程では会場確保ができず、やむなく火・水の日程になりました。各保育園では職員体制に余裕がないなど、職員体制のやりくりを追われていることと思いますが、今から予定していただき、11月10～11日は主任さんをセミナーに送り出してください。

よろしくお願いします。

第12回主任セミナー

日時 11月10日(火)13時～11日(水)15時30分

会場・宿泊 ホテル松島大観荘(宮城県松島町)

仙台駅より JR 仙石線にて 39分、松島海岸駅下車

参加費 8000円

宿泊費 13800円(予定) 1泊3食

※案内書・申込書は、9月中にお送りします。

当面の課題

●新制度の改善を求めよう 自治体ごとの状況や課題を把握し、共有することから始めよう

園長会や、職員会議などで、起こっている事態を出しあい共有したり、率直な疑問や意見を出しあうことから、学習を始めましょう。新制度の実施主体である自治体と関係をつくりつつ、地域子ども全体の保育を底上げするためにも、園長会の役割が重要になっています。

また、保護者や、新しい職員には、新制度の内容を知らせながら、問題点や課題を伝えていきましょう。

●学習会開催費補助活用を

学習会の開催費補助を継続します。

- * 新制度に関わる学習会の他、平和に関する内容や幅広い社会状況に関わる内容についても含めます。
- * 都道府県単位での学習会で、会員に限定せず、会員外の保育園等に積極的に働きかける内容であることを基本とします。
- * 開催費用の不足分を補助します（上限5万円）。

●国・自治体に働きかけよう

今後、内閣府・厚労省との懇談を予定しています（年内をめどに準備中）。各園でのおこっている問題や疑問、自治体での状況、要請したい内容等をお知らせください。

また、各自治体でも懇談・要請を行ないましょう。

※自治体に向けた懇談・要請を行なっている地域は、内容を教えて下さい。

おしらせ

1. 国向け請願署名（見本同封）

11月3日には日比谷野外音楽堂（東京）にて集会を行い、4日にはこの署名をもって国会議員をまわり要請します。各地でとりくみましょう。



2. 社会福祉法人「改革」問題について

参議院での審議にむけて、厚労委員会の議員に要請を行なっています。同封の要請書をコピーし、記入の上、議員室に FAX で送りましょう！

同封資料～ご確認ください

- ①社会福祉法人「改革」問題関連資料
参議院厚生労働委員会議員への要請書・議員名簿・福祉共同実行委員会ニュース No.8
- ②国向け請願署名（見本。1枚2円）
- ③保育プラザ支える会企画チラシ
9月12日に映画上映とトークの会を行います。詳しくはチラシ参照。支える会会員も募集中。
- ④全国保育所給食セミナー案内書
11月28～29日、鹿児島にて開催。